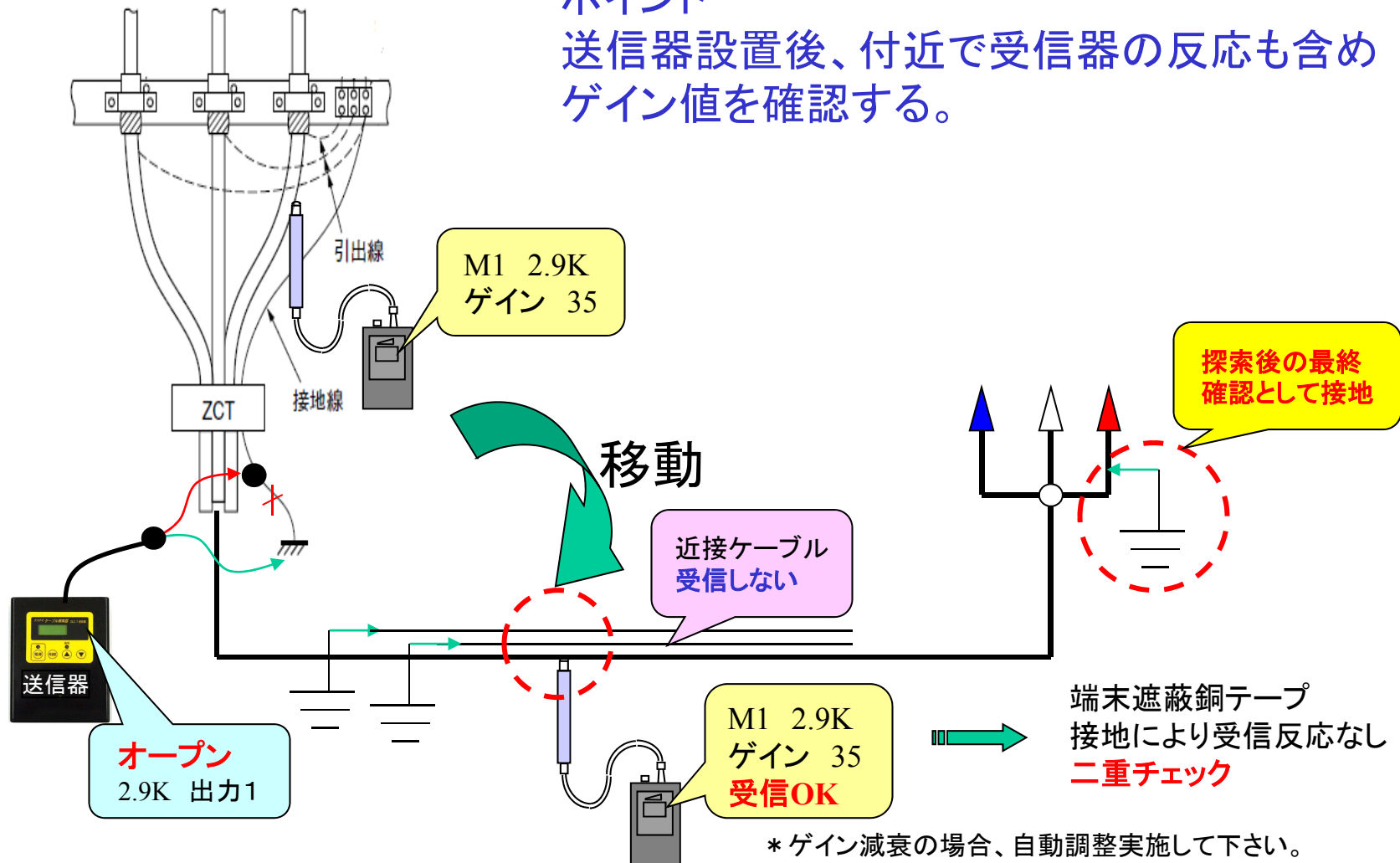


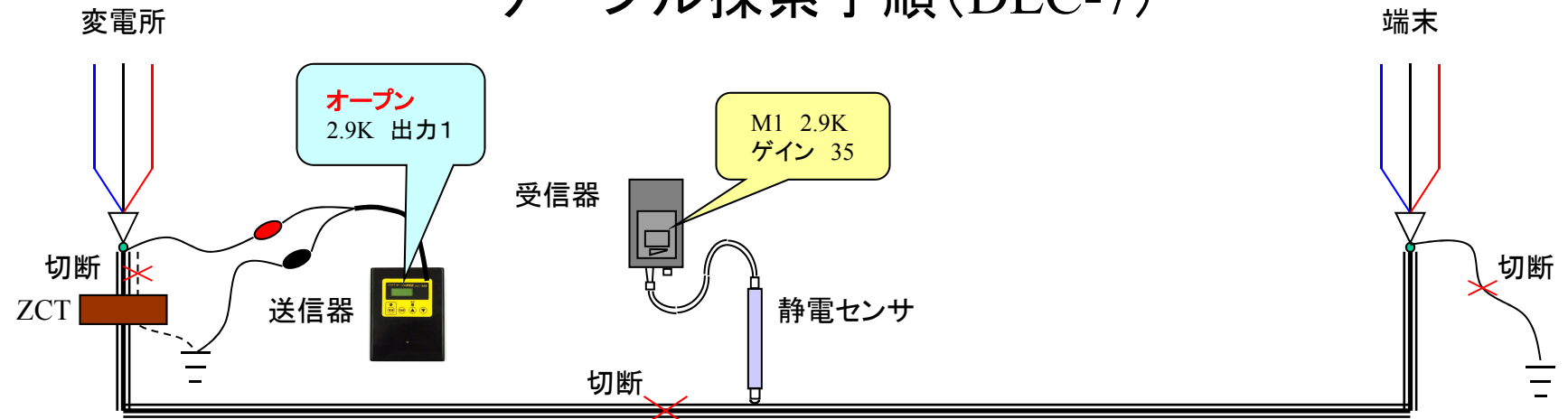
送信～端末までの概略図(CVTケーブル)

ポイント

送信器設置後、付近で受信器の反応も含め
ゲイン値を確認する。



ケーブル探索手順 (DLC-7)



← 変電所側(送信器側) | 切替点(受信器側) | 端末側 →

1. シールドアースを切断、赤クリップを接続
2. 黒クリップをアースに接続
3. 送信器の電源を入れる
4. 送信器の表示「オープン」を確認する
5. 周波数を2.9KHZに合わせる
6. 送信付近で受信器の反応とゲイン値を確認する
7. 受信器側へ「セット完了」と報告する

送信続行

1. セットの完了報告を受け電源を入れる
2. 周波数を2.9KHZに合わせる
3. 受信器上部のダイヤルを右回転させ「ゲイン」を送信地点で確認したゲイン値にセットする
4. 静電センサを当てる(全てのケーブルに当てる)
5. 感度が最も高いと思われるケーブルにセンサを当てた状態でゲイン調整ボタンを押しケーブルを特定する
6. 特定後、端末側に切断したシールド線を接地する様連絡する
7. 表示及び発信音が止まる事を確認できればOK 同じ事を数回繰り返す
8. 切断作業
9. 切断後、テストでR-Sの導通確認をする

連絡待ち

1. アースを切断し大地~浮かす
2. 送信器側へ「アース切断」を報告する

連絡待ち

3. 受信器側の指示でシールド線を接地する

電力会社	赤	白	青	黒	黄
関西電力	R相	T相	S相	-	-
九州電力	R相	S相	T相	-	-

4. R-Sを短絡する(数回繰り返す)

7. 特定完了報告を受け次へ移動

* 中間点でR-S-T相の確認が必要であれば⇒メガーで R-大地 S-大地 T-大地を調べるのが良い